

附属機関等会議録

令和3年2月24日

| | |
|-----------------------|---|
| 会議の名称 | 令和2年度 第2回島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会 |
| 開催日時 | 13時30分から 令和3年1月14日 16時00分まで |
| 開催場所 | 島田市博物館1階 工作室 |
| 会議の議題 | 1. 委員長・副委員長の選出 2. 報告事項 (1) 令和2年度 大井川川越遺跡発掘調査について (2) 川越し街道賑わい創出事業について ①川越し街道賑わい創出事業の地元対応について ②島田市川越し街道周辺賑わい創出プロジェクトについて 3. 協議事項 ・令和3年度 川越遺跡整備事業について |
| 会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（全部 ・ 一部） |
| 会議の全部又は一部の非公開の理由 | |
| 公開の場合の傍聴人の数 | 0名 |
| 出席者の氏名等 | 整備委員：渡辺委員長、佐藤副委員長、高瀬委員建部委員、海道委員、荒井委員、中野委員 アドバイザー：武田主査（静岡県スポーツ文化・観光部文化局文化財課） 委託業者：(株)CSA不動産 事務局：博物館課・又平課長、和田課長補佐、中山係長、朝比奈主任学芸員、篠ヶ谷主任学芸員、望月主査、坂巻主任 文化資源活用課・松本課長、大谷係長、桜井主事 |
| 会議の結果 | 1. 委員長・副委員長の選出 選出 委員長：渡辺和敏委員、副委員長：佐藤正知委員 2. 報告事項 (1) 令和2年度 大井川川越遺跡発掘調査について 事務局から立合宿跡の発掘調査の状況について説明。 立合宿跡については、後世の住宅建替えに伴う攪乱が激しいものの、仲間の宿西側軒先柱の西側で立合宿東軒先柱の根石と考え |

| | |
|-------------|--|
| | <p>られる石を検出したことを報告した。</p> <p>委員から立合宿の屋根構造について質問があり、板葺きもしくは茅葺きと考えられると回答した。また、立合宿や並木敷きの復元について、発掘調査の成果だけでなく、地籍図等の資料から蓋然性を遺構の存在を示せる、との指摘をいただいた。</p> <p>(2) 川越し街道賑わい創出事業について</p> <p>①川越し街道賑わい創出事業の地元対応について</p> <p>文化資源活用課が実施している川越し街道賑わい創出事業についての説明が行われ、住民説明会や住民へのアンケート、住民の先進事例の視察の状況について説明した。</p> <p>委員からは住民アンケートで、地域のにぎわいづくりや川越遺跡への満足度と重要度の調査結果から優先順位を付けて対応してほしいとの意見や、街道の交通規制の必要性についての意見が出された。</p> <p>②島田市川越し街道周辺賑わい創出プロジェクトについて</p> <p>文化資源活用課が業者委託して作成している島田市川越し街道周辺賑わい創出プロジェクトの計画書について、委託業者である㈱CSA 不動産から、中間報告の説明を受けた。</p> <p>委員からは川越遺跡整備事業と川越し街道賑わい創出事業との整理を求める意見があった。</p> <p>3. 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度島田宿大井川川越遺跡整備事業について <p>次年度に予定している復元家屋の札場の耐震診断・補強計画の作成、看板の設置について説明し、看板の形状等について、外国語表記のためレンチキュラー印刷を提案した。</p> <p>委員からはレンチキュラー印刷耐久性が心配である、従来の自然素材のもので製作すべきとの意見があった。</p> |
| 提出された資料等 | ・ 会議資料 |
| 会議を所管する課の名称 | 島田市教育委員会博物館課 |
| その他必要な事項 | |